

2020年10月30日

各位



「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合」の組合出資の追加加入について

池田泉州キャピタル株式会社（代表取締役 平松 勝己）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 鷗川 淳）等が出資する「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド25）」は、本日、有限責任組合員としてダイキン工業株式会社（代表取締役社長兼 CEO 十河 政則）及び日本生命保険相互会社（代表取締役社長 清水 博）の加入を新たに受け入れましたので、お知らせいたします。

本件により、有限責任組合員は10者となり、引き続き、組合員、行政、経済団体及び支援機関等と連携し、イノベーションファンド25を通じて、イノベーション創出が期待できる独自性の高い技術・サービスを保有し、今後将来性が見込まれる企業を育成し、地域への貢献に取り組んでまいります。

イノベーションファンド25は、池田泉州銀行グループがこれまで取り組んできたベンチャー支援を発展させ、関西地域の活性化に取り組まれる企業や公的機関から各々の連携手法により資金供給や成長支援で参画いただき、地域経済活性化につながる「産学官ネットワークによるイノベーションエコシステム」の構築を目的に2019年9月に設立されたものです。

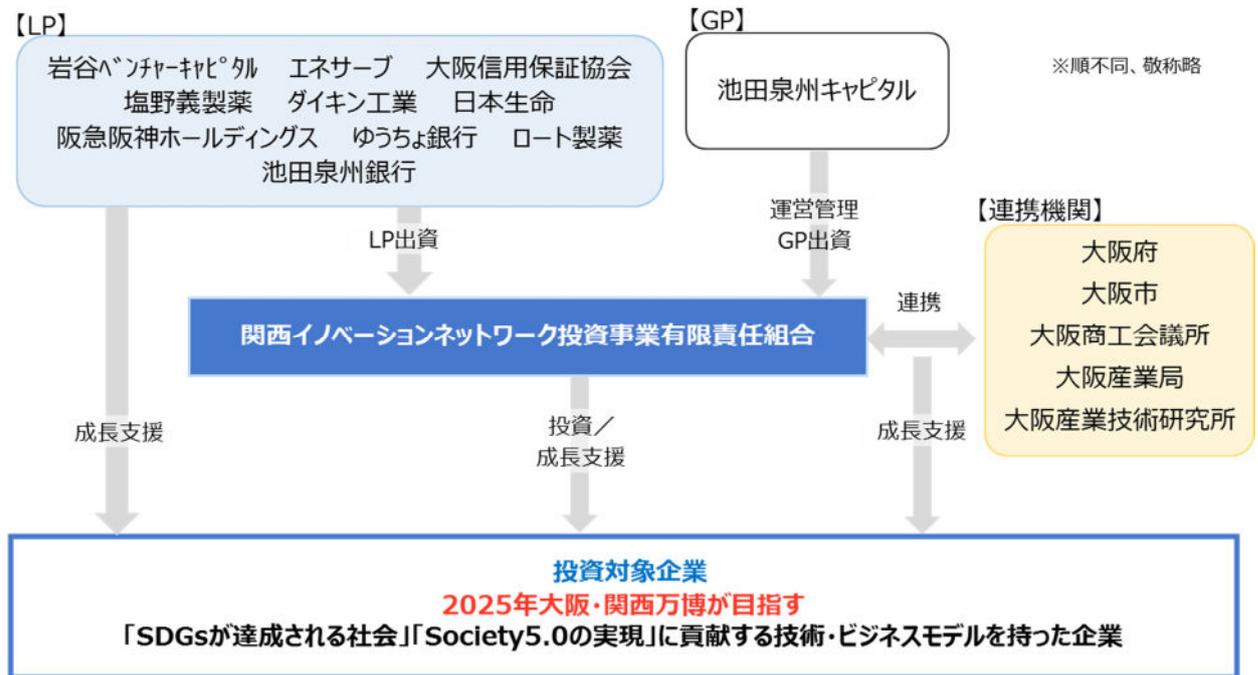
池田泉州銀行グループは、今後も「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、地域の皆様に「愛される」金融グループを目指してまいります。

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合 (愛称：イノベーションファンド25)
ファンド総額	設立時 12 億円
有限責任組合員(LP) 順不同	(既組合員) 株式会社池田泉州銀行、岩谷ベンチャーキャピタル合同会社(岩谷産業株式会社より地位承継)、エネサーブ株式会社、大阪信用保証協会、塩野義製薬株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、ロート製薬株式会社 (追加加入組合員) ダイキン工業株式会社、日本生命保険相互会社
無限責任組合員(GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGs が達成される社会」「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資
設立日	2019年9月20日
存続期間	10年(最大2年まで延長可)
連携機関	大阪府、大阪市、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、株式会社池田泉州銀行 (2019年10月31日『「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合」を通じた連携に関する協定書』を締結)

下線は、2020年10月30日に新たに加入した組合員です。

【ファンドスキーム概略】



【投資の状況】

投資先名	分野	事業概要
セーフィー(株)	AI/IOT	クラウド型映像プラットフォーム「Safie」を開発・運営
ArchiTeK(株)	テクノロジー	センシング LSI (超小型 AI エッジ・画像処理プロセッサ) 開発
(株)リモハブ	ヘルスケア	遠隔管理型心臓リハビリテーションシステムの開発
ルクサナバイオテック(株)	ヘルスケア	難病根治を目指す核酸医薬品の創薬プラットフォーム事業

以上